



## 一般社団法人 静岡県安全運転管理協会

### 各地区安管協会の活動紹介

#### 「交通死亡事故等現場診断」を実施（令和3年3月中）

細江地区、浜松中央地区、伊東地区の安全運転管理協会は、それぞれの地区内で発生した交通死亡事故、重大事故の再発防止を期して、この3月中に管轄する警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、今後の対策を協議しました。

##### 【細江地区】

3月5日（金）、細江警察署、北区役所、安協細江地区支部、地域安全推進委員、地元自治会等の関係団体と細江地区安全運転管理協会から会長及び安管推進事業所である「㈱スミテック」の安全運転管理者等4人が参加し、合計27人により

2月20日（土）の夕方、北区引佐町伊平地先の国道で発生した交通死亡事故（軽四乗用車と道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の102歳女性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、片側1車線の直線の道路ですが、街路灯がないため夕方以降は暗闇となる状態で、現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 速度規制（40キロ）の表示や消えかかったセンターラインの引き直し

- 自治会の回覧板等で高齢者家庭に向け注意喚起や反射材着用の広報実施

などの意見が出され、今後の交通安全活動に反映させることとしました。



【細江署交通課長の説明】



【事故現場の状況】



【現場診断を実施】



【再発防止対策を検討】

## 【浜松中央地区】

3月16日(火)、浜松中央警察署の呼掛けで、浜松市中区役所、交通安全協会浜松中央地区支部、地元自治会等の関係団体とともに、浜松中央地区安全運転管理協会事務局が参加し、合計20人により、

3月6日(土)午前、浜松市中区富塚町地先の主要地方道で発生した交通死亡事故（軽四乗用車が道路反対側のブロック塀に衝突した単独事故、72歳女性が死亡）の事故現場診断を行いました。

事故現場は、駐車場から道路へ出ようとした際、道路反対側の民家のブロック塀に衝突した状況で、現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 高齢者事故のため、免許証返納や運転自粛を呼び掛ける広報活動を実施
- サポカー体験を取り入れた交通安全講習会を実施
- 自治会や各団体において、継続した交通安全広報活動を実施

など、事故防止対策に関する意見が出されました。

また、事故現場診断終了後、現場付近の商業店舗前で、来店客や通行人に対して、反射材等の交通安全グッズを配布しながら、交通安全広報を実施しました。



【浜松中央署交通第一課長の説明】



【現場診断】



【再発防止対策を協議】



【交通安全広報の様子】



## 【伊東地区】

3月31日(水)、伊東警察署の呼掛けで、伊東市役所、熱海土木事務所、交通安全協会伊東地区支部等の関係団体とともに、伊東地区安全運転管理協会から市川会長と事務局長が参加し、合計23人により、

2月22日(月)午前、伊東市荻地先の県道で発生した重大交通事故

(軽四貨物車と歩行者の衝突事故、歩行者の70歳代女性が17日後に死亡)

の事故現場診断を行いました。

事故現場は、道路幅員が広く横断歩道の距離が長くなっており、交差する道路が斜めとなる変形交差点で、現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

○ 交差点の形状を変更することは困難なため、“速度落とせ”や“重大事故発生”等ドライバーや歩行者に注意喚起する看板の設置を検討

○ 各関係団体において、継続した交通安全広報活動を実施

など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【伊東署交通課長の概要説明】



【現場診断の様子】



【再発防止対策を協議】